

2022年度 こども園 アサンプション国際幼稚園 幼稚園評価報告書

1 教育目標

キリスト教の精神の教えに基づき「誠実・隣人愛・喜び」をモットーとする。

- ・正しく生き生きとした子ども
- ・優しく明るい子ども
- ・考え、最後までやり抜こうとする子ども

キリスト教の精神を通して愛されて愛する心を知り、一人ひとりが、かけがいのない大切な存在であることを知る。ありのままの自分が認められる安心感を、また互いの違いを認め合いながら一緒に生活することの喜びを感じられるよう、愛情深く子どもたちと関わる。

2 重点取組内容

1. 教育事業
2. 教育環境の整備
3. 社会連携・奉仕事業
4. 募集に係る事業

【学校評価 自己評価アンケートの結果と分析】(2023.2月実施)

<保護者>

「とても充実した園生活を送っている。いつも行き届いた対応をしていただき感謝している。」など日々の保育や園の方針について賛同いただける意見が多数あった。その反面「行事の詳細のお知らせをもう少し早く教えてほしい」「預かり保育の予約が取りにくい」という意見もいただいた。

<職員>

- ・年少クラスが着替えで困っている時に隣の年中年長クラスが手伝いに行ったり、自由遊びの時間帯に異年齢の部屋に行き来して遊ぶなど、一日の流れの中で自然な形で異年齢交流を持つことができた。
- ・2021年度より英語教育を本格的にスタート。年中、年長クラスは4月より週2回年、少クラスは2学期より週1回行った。どのクラスの子どもたちも、楽しみながら学んでいた。また日本語以外の言語に触れることで、クラスの様々な国のお友だちを自然と受け入れているように感じる。2月の生活発表会では年長クラスが英語劇を行った。

<学校関係者評価>

日頃より先生方が全力で子どもたちと触れ合って、そして愛情込めて見守ってくださり、毎日安心して幼稚園に送り出せることに感謝している。聖堂でシスターから聞くなど、遊びを通して心身共に成長していく子どもの姿を感じられる。またアプリを導入して園との連絡がいつでもどこでも確認できることも有り難い。

要望したい点として①併設小学校イングリッシュコース入学を目指す園児向けの対策コースを充実させてほしい②預かり保育の予約がなかなか取り難いため対策を検討していただきたい。

<分析>

新2号認定の預かり保育の予約が取りにくいという意見をたくさんいただいた。それについて少しでも解消できるよう、新2号の予約を8日前から、1号認定を7日前からとし、少しでも予約を取りやすい方法を考え実施した。その結果、予約が取りにくいという意見が少なくなった。直前にキャンセルされる方もあるので、その都度、調節して受け入れを行っている。令和5年度からは、預かりの受け入れ人数の枠を増やす方向で考えていく。それにあたり保育室、職員人数等の課題をひとつずつ検討していきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

重点取組内容	今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
教育事業	(1) 教員のレベル向上	<p>(ア) 教員スキル向上のための研修を受ける。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修を実施する。</p> <p>(ウ) 「カトリック教職員保育大会」に参加する。</p> <p>(エ) 学院外講師を招き、体験活動を実施。</p> <p>(オ) 宗教教育 目には見えないけれど、いつも見守ってくださる方がいらっしゃることを子どもたちが感じる。</p> <p>(カ) 英語、体操、それぞれの専門指導員のもと、保育を実施する。</p>	<p>(ア) 近畿地区研修大会等、オンラインでの研修の中から自ら学びたい分野の研修を受け、保育の質の向上に努める。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修「より良い環境を考える」を研修のテーマとしてグループディスカッションを用いて年3回実施。</p> <p>(ウ) パウロ酒井俊弘司教様の講話、「カトリックの視点から見た保育とは」を聞き、カトリック教育の理解を深める。</p> <p>(エ) 書道、茶道等の体験活動を実施。また劇団「風の子」による観劇を楽しむ。</p> <p>(オ) 日々の生活の中で、で静かに手を合わせ祈る。また讃美歌を歌ったり聖劇を通して神さまを身近に感じる。聖堂に行き、シスターから神さまのお話を聞く。</p> <p>(カ) 専門指導員による体操指導により心と体の鍛錬と体力の向上を図る。また英語専門の指導者のもと、英語でのゲームで遊んだり歌ったり楽しみながら自然に英語や国際感覚を身に付ける。</p>	<p>判定： できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(ア) 判定：○ オンライン研修が中心であった。そのため研修を受けやすく、各自たくさんの学びがあった。</p> <p>(イ) 判定：○ グループディスカッションを取り入れ、日常のそれぞれの思いや悩みを出し合うことで、分かち合いの時を持つことができた。</p> <p>(ウ) 判定：○ 対面での研修であったため、より心に届く研修となった。研修をさらに重ねることにより、カトリック教育への理解を深めていく。</p> <p>(エ) 判定：○ 普段できない体験をすることができ、子どもたちも集中して取り組んでいた。</p> <p>(オ) 判定：○ 神さまが、いつも見守ってくださっていることを感じ、静かな心で祈ることができた。</p> <p>(カ) 判定：○ コヤマスポーツスクールに体操を業務委託し、子どもたちの運動能力を伸ばした。幼児英語では、ネイティブ専任教諭による「ジェーンイングリッシュ」を実施した。</p>

<p>2 教育環境の整備</p>	<p>(1) 子どもたちが毎日過ごす環境を安全に整える。</p>	<p>(ア) 毎日の各所安全点検の実施する。</p> <p>(イ) 通園バスの乗降の際は、ケガのないよう意識を高く持ち、マニュアルをもとに安全に送迎する。</p> <p>(ウ) 箕面市、警察署と連携を取り、交通安全教室を実施</p> <p>(エ) 門の前での送迎時の見守りを実施する。</p> <p>(オ) カメラ付きテレビモニターの設置。</p>	<p>(ア) 園庭、遊具点検を実施する。</p> <p>(イ) 登降園時の通園バスでは、人数確認、名簿確認をきちんと行い、忘れ物、子どもの置き去りがないよう、乗車職員と運転手によるダブルチェックを行う。</p> <p>(ウ) 園庭に横断歩道や車道を描き、警察官の方により横断歩道の渡り方等を指導してもらう。</p> <p>(エ) マナーを守って安全に登降園できるよう、守衛や職員が門の前で迎え入れや送り出しをする。</p> <p>(オ) カメラ付きテレビモニターを7台設置。</p>	<p>(ア) 判定：○ 毎日、日直が遊具点検を実施することができた。</p> <p>(イ) 判定：○ 人数確認、名簿確認を行い、またダブルチェックにより安全に送迎できた。</p> <p>(ウ) 判定：○ 簡易信号機を用いて実際に手を挙げて横断歩道を渡る疑似体験をすることで、子どもたちの心にも響いた。登降園の際も左右を確認しながら門を出る姿が見られた。</p> <p>(エ) 判定：○ マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをするようにした。</p> <p>(オ) 判定：○ カメラ付きテレビモニターを設置していることにより、子どもたちの安全を見守ることができた。</p>
<p>3 社会連携・奉仕事業</p>	<p>(1) 地域との連携や子育て支援の充実を図る。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」(園庭開放)を定期的実施。先生やお友だちと出会い、たくさんの遊びを通して心身ともに育ちあう場を設ける。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベントを年間12回以上(園庭開放を含む)実施する。</p>	<p>(ア) 判定：○ 地域子育て支援として「みんなであそぼう」を実施した。平均8名ほどの親子の参加があった。また新年度の入園に繋げることができた。</p>

<p style="text-align: center;">4 募 集 に 係 る 事 業</p>	<p>(1) 募集活動の強化</p> <p>(ア) 地域の子育て支援の一貫として「プレスクール」を実施する。就学前の2歳児の親子対象に、親子で製作や集団遊びを楽しみながら心身ともに育ちあう場を提供する。また来年度の入園に繋げる。</p> <p>(イ) 2023年度の募集を強化する。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページの見直し。</p> <p>(エ) 入園説明会の実施。</p> <p>(2) 関係各所との連携</p> <p>(ア) 園から併設小学校へ進学する子どもたちへの丁寧な申し送りをする。</p> <p>(イ) 小学校の生徒との交流</p>	<p>(ア) プレスクールを実施。 ・ひとクラス12名を4クラスで行う。年間20回実施。</p> <p>(イ) 2023年度3歳児進入園児受け入れ数を80名とする。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページのデザイン・掲載写真の更新。</p> <p>(エ) 3回に分けて対面で実施。どちらかを選択できるようにして行った。</p> <p>(ア) 内部進学する子どもたちの状況を小学校と情報を共有する。</p> <p>(イ) 「ハロウィンパーティー」小3による「絵本の読み聞かせ」「いっしょに遊ぼう」</p>	<p>(ア) 結果：○ 48名中33名が入園に繋がった。</p> <p>(イ) 判定：△ 2022年度の3歳児入園者数は75名(3月末実績)となった。</p> <p>(ウ) 判定：○ ホームページ上の写真の更新や日々のブログを更新し、最新の情報を提供した。</p> <p>(エ) 判定：○ 参加者95名であった。</p> <p>(ア) 判定：○ 卒園後も引き続き細やかな配慮ができるように話し合いの場を持つことができた。</p> <p>(イ) 判定：○ どの交流会も楽しく参加させてもらうことができた。</p>
--	---	--	---